



子どもの心が動くとき

あんなに残暑が厳しかったのに、気持ちの良い季節になりました。

運動会では、素晴らしい晴天に恵まれて楽しいひと時を過ごすことができました。コロナ禍の中で行事を行うことに戸惑いもありましたが、あの子どもたちのきらきらした“やる気”の顔と、運動会後の一人ひとりの様子からも、できてよかった〜!と、思っています。プログラム内容を例年よりずいぶん縮小したり、密を防ぐためにテントの設置をやめましたが、密になっていたりと、気温が上がったこともあって参加した方々の体調を心配しました。熱中症になる方もなく、子どもたちを見つめる会場全体の嬉しそうな表情や連帯感は最高でした。この状況の中で、今まで当たり前のようにやっていたことを見直しながら、新しいやり方でよかったことも見えてきたので、今後に繋がっていきたいと思います。いろいろとお願いばかりでしたが、皆様のご協力をありがとうございました。

乳児園の子どもたちは今回参加しませんでした。2歳児らいおん組さんは、日出第一公園での運動会の練習の様子を応援の旗を持って見に行っていました。体操、かけっこ、大きなバルーンが膨らむ様子などを憧れの気持ちで見たいでしょう。この憧れが来年へと続いていきます。子どもたちの一年後がまた楽しみです。

この運動会までの過程の中で、子どもってすごいなと思ったエピソードがあります。3歳児あか組さんが初めて公園でかけっこをした時のことです。お友だちとかけっこの位置についた〇ちゃんが、“手をつないで走る”と、私の手を握ってきました。ゴール手前で手を離そうとすると嫌がって、その日は手をつないだままゴールへ。次の日は、他の職員に半分まで手を繋いでもらって、半分は自分でゴール。いっぱい誉めてもらいました。そして、運動会当日は、最後までにこにこで自分で走ってゴールしたのです。すごいことですね。ドキドキする…でも、みんなと一緒にやりたいと、

小さな心の葛藤があったのでしょうか。子どもが自ら、“やりたい”と、やる気スイッチを入れ、心を動かす時があります。やったね!と、その頑張りを認め、満足感や達成感に繋げて、次に困難なことがあった時もこのような経験が、勇気やパワーに変えていくことでしょう。子どもたちの話を聞いたり、寄り添ったりということを丁寧にしていきたいものです。(右のぽかぽかドキュメンテーションも一緒にご覧ください。)

今月は、「ひのでアート展」があります。まだまだ運動会の興奮が冷めない中ですが、部屋の中ではさまざまな素材に触れながら遊んでいます。

幼稚園では、春に植えたとうもろこしの収穫をして、残念ながら、実はあまり出来なかったものの、みんなでプランターを片付ける際に発見した土の中でぐるぐるんになるほど伸びていた根っこの様子に驚いたり、土の中で大きくなっていた落花生にも興味を持ち始めています。今、土の中の見えない世界はどうなっていたのかの研究が始まっているようです。そんな子どもたちの興味・関心の詰まった創造の世界がアート展ではホールいっぱい広がる予定です。子どもたちの表現を楽しみにしているところです。乳児園でも、ときめきがいっぱいの廃材を使って、小物作りをしたり、子どもたちが虫さんや小さな妖精に変身したりと、ワークショップをする予定です。わくわくしますね。昨年までは、手作りのカレーやクッキーをみんなで食堂で食べていましたが、今年度はコロナ禍の中なので、食事の提供はありません。当日は、クラスを半分ずつに分けて、参加して頂こうと考えています。日頃のお子さんの様子などをお話しながら、楽しいひと時になればと思っています。

10月1日は、お月見です。秋の夜空にぽっかりと浮かぶまんまるお月さんに、みんなが元気に過ごせるようお願いしたいです。また、今月は、いもほりや焼き芋パーティーもあります。心もお腹も幸せいっぱい月になりますように。 園長

ぽかぽかドキュメンテーション 10月

～ 「楽しい保育」 みんな一緒にびっくりぽん! がんばったわ! 運動会 編 ～



あかぐみさんは公園で大きいクラスの子の走っている様子や踊っている様子を見ながら、少しずつ運動会の気分が盛り上がっていきました。今年は初めて親子ダンスの動画を配信しましたが、家族で踊っていたようで、保護者の方のダンスもばっちり!他園から見学に来ていた職員も驚くほどの出来ばえに私たちもびっくりでした。

きいぐみさんが昨年から楽しみにしていたバルーンあそびでは、最初はうまく膨らまなかったけど、みんなで掛け声をかけながら気持ちを合わせると良く膨らむことを発見し、「今日はよく膨らんだね」「明日はもっと大きい声でしよう!」と毎日楽しく取り組みました。当日もとてもきれいに膨らみましたね。



しろぐみさんにとっては保育園生活最後の運動会。うちわの踊りではどうやらたかこよくなるか?というのを毎日振り返りながら取り組みました。そんなある日、隊形移動の練習の際、先頭のお友だちがわからなくなってしまう、うまくできなかったことがありました。その時に「〇〇ちゃんのせいでうまくいかなかった!」と一生懸命のあまり、ついそのようなことばを投げかけてしまう場面が見られました。担任は頭ごなしに叱ることなく、クラスに戻りみんなで輪になって話し合う時間を作ったそうです。その時に今まで自分がお友だちに言われて嬉しかった言葉、嫌だった言葉はどんなことがあったかという話に及び、子どもたちからいろいろな意見が聞かれました。これからみんなで力を合わせて運動会を成功させるためにはみんなが嬉しくなる言葉を掛け合って頑張ろう!とクラスのみんなで確認しあったそうです。それからの練習では「〇〇ちゃんこっちだよ!」「教えてくれてありがとう!」とみんなで励ましあいながら練習をする姿が見られ、子どもたちの表情も変わってきたように思いました。そして当日、保護者の方の前で生きいきとした演技を見せてくれましたね。終わった後の子どもたちの誇らしげな顔がとても印象的でした。この運動会での経験が、さらに相手を思いやる気持ち、みんなで力を合わせる大切さなど、クラスの友だち関係の深まりに繋がったように思います。



どの学年の子どもたちも大満足!に終わった運動会。この経験から学んだことを大切に、これからも楽しい保育を計画していきます。

幼稚園主任